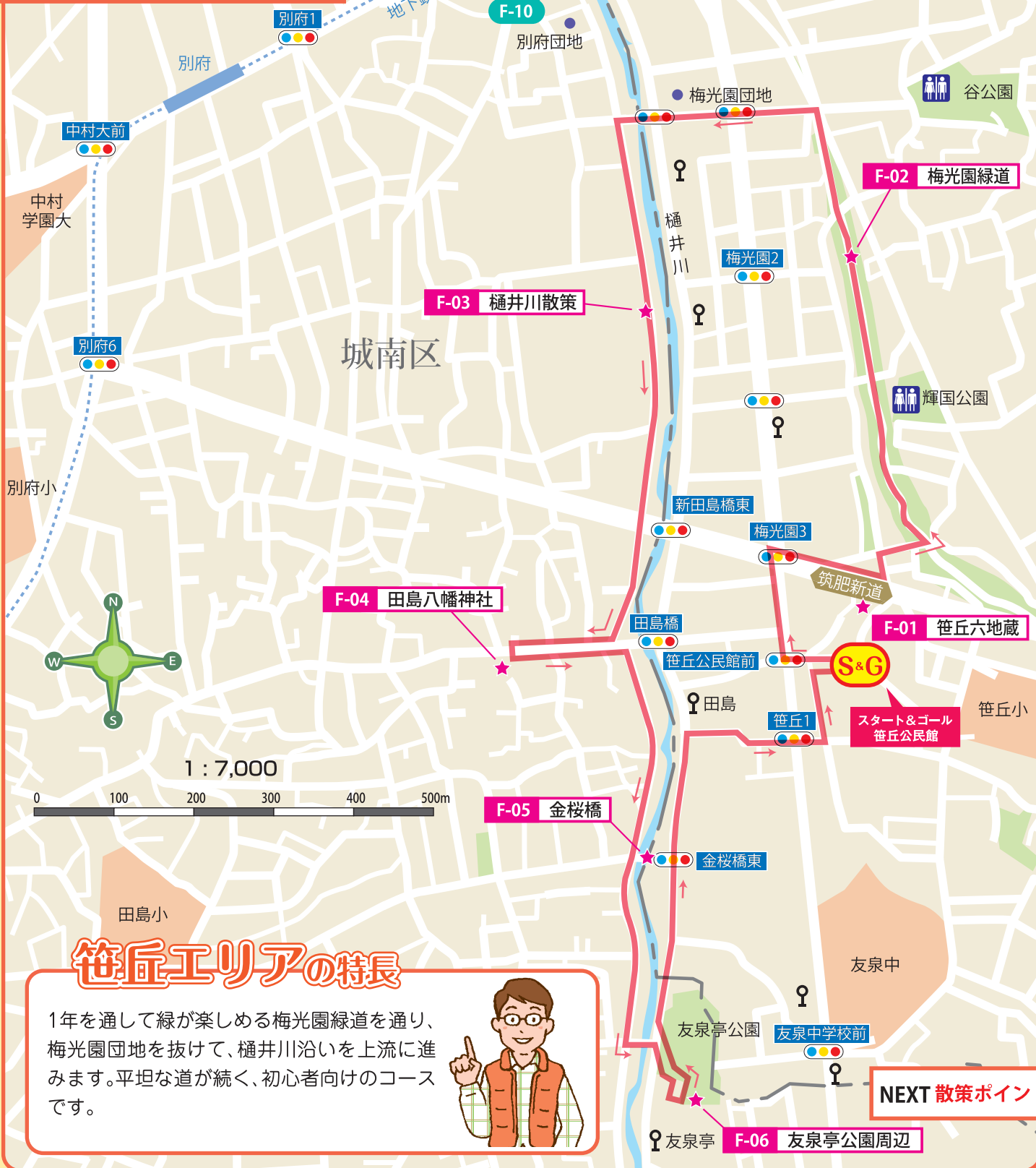


F 笹丘コース

緑道せせらぎウォーキング

全長約3.6km 70分



笹丘エリアの特長

1年を通して緑が楽しめる梅光園緑道を通り、梅光園団地を抜けて、樋井川沿いを上流に進みます。平坦な道が続く、初心者向けのコースです。



NEXT 散策ポイント

友泉亭 F-06 友泉亭公園周辺

F 笹丘コース ルート散策ポイント

F-01 笹丘六地藏

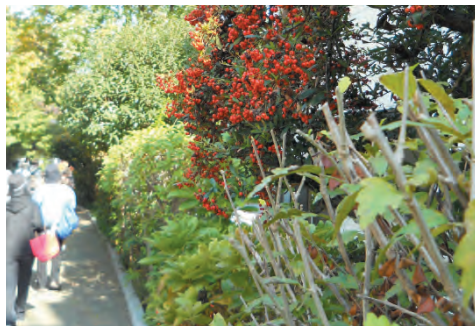
江戸時代、享保の大飢饉の際、餓死した人々を供養した飢人地蔵が昭和6年にこの場所に移されました。

【住所】笹丘一丁目8番(緯度経度)33° 34'05.3"N / 130° 22'45.4"E



F-02 梅光園緑道

梅光園と輝国を結ぶ全長1kmほどの遊歩道です。昭和58年に国鉄筑肥線が廃線となった後、線路跡の一部を活用して整備されました。遊歩道には梅の並木や広場があり、所々にベンチやストレッチ用具も置かれています。のんびりと散歩を楽しむにはうってつけの場所です。ちなみに「梅光園」という地名は、周辺一帯の住宅地を造成した溝口梅太郎(うめたろう)氏と夫人の光子(てるこ)氏から1字ずつ取って組み合わせたとの説があります。



F-03 樋井川散策

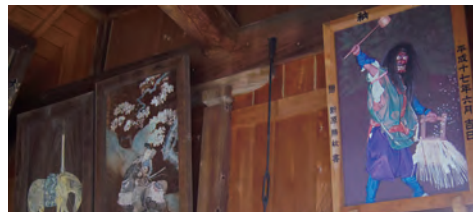
川沿いに並ぶ酔芙蓉は1日の間に白からピンクへと色を変えていきます。水鳥や亀などの自然豊かなコースを満喫できます。



F-04 田島八幡神社

境内に樹齢数百年の楠や銀杏の大きな木があり、地元の鎮守の森として親しまれています。

【交通】西鉄バス「田島」下車徒歩4分
【住所】城南区田島四丁目3-10【問い合わせ】☎843-9407



F-05 金桜橋

赤い2本線が入った金桜橋は、全国で初めて空き缶を使用して作られました。城南区内の小学生の協力で集められた14万個の空き缶が内部に詰まったリサイクルの橋です。橋を渡る途中には空き缶を模したオブジェがあります。



F-06 友泉亭公園

黒田藩の別荘を整備した歴史公園で美しい日本庭園が楽しめます。

【交通】西鉄バス「友泉亭」下車徒歩5分
【住所】城南区友泉亭1-46
【問い合わせ】☎711-0415 / HP: <http://www.yusentei.com/>
【利用時間】9:00~17:00【入園料】大人200円/小人100円
【休日】毎週月曜日(月曜が休日の場合はその翌日)12月29日~1月1日



F 笹丘コース 周辺散策ポイント

F-07 城西橋

城西橋からすぐ上流の地点は、西側から流れてきた七隈川と樋井川が合流するポイント。樋井川は東側から大きく曲がって流れてきています。江戸時代に樋井川の流れを人工的に変えたことの名残が、川の形状に残っています(P09-A-18参照)。城西橋の上は昭和50年まで、渡辺通一丁目と西新を結ぶ市内電車城南線(路面電車)が走っていました。



F-09 草香江新橋

草香江新橋付近では、川の水位が低い時に河原が現れ、降りて樋井川の流れにじかに触れることができます。水中ではコイが泳ぎ、水面にはカモやサギが飛来するのを見掛けます。毎年秋頃には、清らかな樋井川であり続けることを願い、草ヶ江小児童や地域住民らがシジミを放流しています。



F-08 塩屋橋

大正15年、市西南部の耕地整理事業を機に架けられた塩屋橋。橋の南側の旧町名を塩屋町といい、かつて塩を作る小屋が並んでいたことにその名が由来します。現在の橋は昭和61年に架け替えられたものですが、橋の親柱は旧塩屋橋のものが使用され、力強く書かれた「塩屋橋」の文字に歴史を感じ取ることができます。



F-10 樋井川筑肥橋

博多から筑前篠島、筑前高宮、小笹、鳥飼、西新を経由し、姪浜へ通じていた国鉄筑肥線。樋井川筑肥橋は筑肥線が昭和58年に廃線となった後、鉄道橋に代わって架けられた橋です。橋の欄干に並んだ蒸気機関車の動輪のモニュメントと、親柱にかたどられた線路が、当時の懐かしい風景を今に伝えています。

